

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド  
実績報告書(事業助成用)

平成18年 8月29日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者  
三菱UFJ信託銀行株式会社 御中

住 所:〒501-1316  
岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲木曾屋180番地  
法人(団体)名: 特定非営利活動法人  
ぎふいび生活楽校 印

代表者名: 高橋 満治

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成17年度(前期(後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

NPO法人「ぎふいび生活楽校」設立および展開事業

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
----------	-----------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	1,000千円
実績額	1,000千円
差し引き額	0千円

4. 事業実施期間

平成17年10月 1日 ~ 平成18年 8月27日 ( 1年 か月間)

## 5 . 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況 (実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等)			
平成17年11月19日～20日	団塊サミットin岐阜	を開催し、地域の活力づくりに参加した。	谷汲サンサンホールにて 150名の参加
平成17年11月26日	NPO法人設立総会	ラーニングアーバー横蔵にて	
平成17年12月25日	クリスマスパーティー	地元の子供達の楽しい交流の場を提供できた。	ラーニングアーバー横蔵にて 25名の参加
平成18年 3月12日	フィッシング大会	地元の人と都会の人の交流の場を作る事ができた。	揖斐川町久瀬・小津地区 14名の参加
平成18年 3月20日～21日	森林の楽校	ボランティアで森林づくり	18名の都市住民の参加で財産区の森づくり応援した。 谷汲横蔵地区周辺
平成18年 3月18日	映画とトークの会	地域の子供達の文化要求に応えたもの。	ラーニングアーバー横蔵 25名の参加
平成18年 5月21日	全国植樹祭	地元NPO団体と共に参画。県の事業に前面協力。	
平成18年 5月27日	第2回総会とシンポジウム	自然との共生をテーマに勉強。	ラーニングアーバー横蔵 29名の参加
平成18年 6月12日・18日	里山のスポーツカフェ	を開催し、ワールドカップを地域住民と共に盛り上げ、活力づくりに貢献。	
平成18年 6月より	町内2ヶ所で 稲作体験	農場をスタートし、子供達や学生達に農業体験の場の提供。	
平成18年 8月3・10・22・27日	子供木工教室	夏休みを利用し、子供達に森林や自然に触れ合う機会を提供した。	
平成18年 8月13日	生活楽校夏まつり	を開催し、親子3代がふるさとで地域住民や都会の人との楽しい交流を企画し、地域づくりに参画した。	
<b>月例で</b>	月一山歩き隊	5回	毎月違う、岐阜西濃地域の山々を登る。
<b>各種講座</b>	ふじつる工芸	6回	地元の人にも都会の人にも自然と触れ合う機会と、ものづくりの楽しさを提供できた。
	創作文字	2回	筆・墨を使って、日本文化の素晴らしさを再確認してもらう機会を提供した。
	ラッピング	1回	贈る側の楽しみを体験してもらえた。 などをラーニングアーバー横蔵にて開催

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

- ・ 団塊サミットは2007年問題と言われる団塊世代の今後の行方が時代のキーワードであり、県内外の参加も多く、地元テレビ新聞でも取り上げられ話題をよんだ。
- ・ クリスマスパティーや、映画とトークの集いは地元の子供達にも大いに刺激となり、親子で楽しむいい催しとなった。地域住民から歓迎された。
- ・ 林業体験や農業体験は、都会の子供達の生きた社会勉強となっており、継続して行うことが求められている。
- ・ 月例の講習会は、宣伝不足もあり、各回数名の参加ですが、今のところ粘り強く続けている。

(3) 今後の課題

趣旨を広め、会員の拡大と会の財政の強化

現在約100名      200名にする。

広報活動（HPの充実、チラシポスター等の活用による周知徹底）のレベルアップで参加者を広げ、地域の活動につなげること。

会を荷負うリーダーの育成

参加者の声を反映した企画・イベント・講座の内容を充実。